

基礎看護学

専門分野

授業科目	診療補助援助技術Ⅱ	講師	氏名	①桑原麻衣 ②安部信一	開講年次	単位・時間	
			所属	①②専任教員			
			実務経験	①②臨床看護師	2年次 前期～後期	1単位 30時間	
科目のねらい	治療には、身体侵襲や苦痛を伴うものが多い。ここでは特に治療のために必要な検査・与薬について理解させ、対象者の侵襲や苦痛を最小限にした安全・安楽な診療の補助援助技術の基礎を学ぶ。						
到達目標							
知識・技術	1. 検体の採取方法、留意点を説明できる。 2. 投与経路に沿った穿刺部位を確認でき、モデル人形に対して筋肉内注射の実践ができる。 3. 持続点滴の固定法と滴下調整ができる。 4. 感染性病原微生物を排出している患者から医療者や他の患者を守るための正しいガウンの着脱ができる。						
思考・判断・表現	1. 苦痛のある処置に対して配慮した声かけができる。 2. 処置を受ける対象者の心情を考慮することができる。 3. エビデンスをもって、援助技術を計画、実施、評価できる。 4. 易感染状態の患者を感染源（病室外の病原体）から守るためのガウンテクニックを考慮することができる。 5. 演習で学んだ技術を様々な健康障害を持つ対象を想定し、対象に応じた援助技術を考えることができる。						
主体的学習態度	1. 人体の構造と機能を復習し、処置の目的、方法、根拠を学習できる。 2. 主体的に学習ポートフォリオに蓄積させ、講義終了後に蓄積された成果物を更に凝集させ、オリジナルなものにまとめ提出できる。						
科目評価	①定期試験（実技）100% ②定期試験（筆記）70% ポートフォリオ30% 合計100% ①②ともに合格した者を単位取得とする。						
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術（メディカ出版） 系統別看護学講座 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ（医学書院） 系統別看護学講座 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ（医学書院）						
参考文献	看護技術プラクティス（Gakken） 写真でわかる臨床看護技術1アドバンス（インターメディカ）						
回数	教育内容	教育方法				関連科目	留意事項
		講義	演習	到達レベル	その他		
1	簡易血糖測定	○	○	Ⅱ		からだの機能 からだの構造 日常生活から見るからだ 臨床薬理学 各専門看護学	1. 演習時は白衣着用、アールーム 2. 手順書を作成して演習に臨む。 3. 演習後に必ず自己練習を実施する。 4. 講義終了後にポートフォリオ提出
2	検体検査の取り扱い(尿、血液等)	○					
3	与薬・座薬	○					
4	注射法	○					
5	筋肉内注射		○	Ⅱ			
6	採血		○	Ⅱ			
7	静脈内注射		○	Ⅱ			
8	点滴静脈内注射の管理 ルート固定・滴下調整		○	Ⅱ			
9	持続点滴中の更衣、移動		○	Ⅱ			
10	ガウンテクニック	○	○	Ⅱ			
11			○				
12	放射線の被ばく防止策の実施 生体検査		○	Ⅱ			
13	中心静脈栄養穿刺の介助	○		Ⅱ			
14	準備から滴下(輸液ポンプ)		○	Ⅱ			
15							
備考	臨床(病院)での看護師の実務経験をふまえ、臨床に則した授業・演習を行います。						